

みんなで
つくる
園の未来!

保育ナビ

10

2024
OCTOBER
<7/12>

特集

又リ課程改訂から大きく動き出した
韓国の幼児教育・保育
「子どもが生きる・遊ぶ」の
意味を改めて問う

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
気が合う特定の友だちと
一緒に遊ぶことが
楽しくなってくる時期

職員確保、離職に効く職場づくり
個人と組織の成長に
つながる園長面談

リーダー座談会
人材育成 わいわい語り場Ⅲ
管理栄養士と共に
保育をつくる

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

Hoiku
navigation

『保育ナビ』が
伝えたいこと

子ども主体の保育について 様々なやり方を知る

読者の園では、「子ども主体の保育」について、様々な試行錯誤をされていると思います。今月は、ヌリ課程の改定で、保育者主導の保育から子どもの主体性を尊重した保育に転換した韓国を特集で取り上げているほか、様々なコーナーで子ども主体の保育について、様々なやり方をご紹介します。園のみんなで「子ども主体」について再考し、それぞれの意見を出し合い、語り合うきっかけにご活用ください。——『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』は、
編集委員がサポート
しています。

秋田喜代美（学習院大学）
浅井幸子（東京大学）
大方美香（大阪総合保育大学）
大豆生田啓友（玉川大学）
北野幸子（神戸大学大学院）
古賀松香（京都教育大学）
境 愛一郎（共立女子大学）
汐見稔幸（東京大学名誉教授）
砂上史子（千葉大学）
松井剛太（香川大学）
無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）
矢藤誠慈郎（和洋女子大学）
敬称略 50音順

巻頭

フレーベルのことば 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談



子ども中心の教育・人間尊重の教育

子どものウェルビーイングを願って ムーブメント教育理論を実践に活かす…4

小林芳文（特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会 会長）

増田まゆみ（湘南ケアアンドエデュケーション研究所 所長）

特集



又り課程改訂から大きく動き出した

韓国の幼児教育・保育

「子どもが生きる・遊ぶ」の意味を改めて問う…10

汐見和恵



注目テーマ



幼保小の架け橋に

「10の姿」で見る小学校の活動…22

無藤 隆

なるほど！

「こども誰でも通園制度」…24

秋田喜代美

共創のためのリスペクト型マネジメント

地域の学び合いで

研修づくり・園づくり…26

大豆生田啓友

保育内容



3・4・5歳児 遊びが育つ保育

協同性の発達と遊び…30

河邊貴子

0・1・2歳児保育の

センス・オブ・ワンダー…32

井桁容子

チャレンジ！

子どもの姿ベースの指導計画…34

大豆生田啓友 岩田恵子



子どもに保育研究を伝える

～子どもたちへのメッセージ～…38

松井剛太 佐藤智恵



一人ひとりの感性が輝く

アートな世界…40

足立真知子

密着！

ミドルリーダーのしごと…44

汐見稔幸



保育の種

子どもの健康を守るために…46

認定こども園すなはら



若手育成のための

文章の書き方練習帳…47

浅井拓久也



子どもたちのミーティング

Q&A…48

青山 誠

information…49

国の動き

国の動きを読む！

研究者の目2024…50

大方美香

園経営

コンサルタントが読み解く

新時代の園経営2024…52

桑戸真二 多田善雄

ビジュアルで読み解く！

園の危機管理

ポイントチェック…54

脇 貴志

人材育成

職員確保、離職に効く

職場づくり…56

菊地加奈子

リーダー座談会

人材育成 わいわい語り場Ⅲ…60

北野幸子

子ども中心の教育・人間尊重の教育 子どものウェルビーイングを願って ムーブメント教育理論を実践に活かす

1978年、マリアンヌ・フロスティック著『ムーブメント教育—理論と実際—』（日本文化科学社）が出版されました。訳者のお一人が、小林芳文先生でした。小林先生、そしてムーブメント教育理論との出会いにより、保育実践の場で、また、障害児とその家族との活動において、スタッフや学生と楽しく、充実した時間を過ごしたことが思い出されます。現在も、ささやかながら継続して活動をしていることが、喜びとなっています（増田）。（対談は2024年5月に実施）

「保育ナビ」
スペシャル
対談
Special Talk

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直そうとする際のきっかけが見つかります。

写真／渡辺 悟



増田まりみ
(ますだまゆみ)

ゲスト
小林芳文
(こばやしよしふみ)

湘南ケアアンドエデュケーション研究所所長。特定非営利活動法人日本ムーブメント教育・療法協会理事。元東京家政大学・大学院教授。保育研究・実践に長く携わり、「保育所保育指針」第一次、二次、三次（改訂・改定）検討委員を務めた。「保育園・認定こども園のための保育実習指導ガイドブック」（中央法規出版）など著書多数。

特定非営利活動法人日本ムーブメント教育・療法協会会長。国際ムーブメント教育・療法学術研究センター所長。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。教育学博士。横浜国立大学名誉教授、和光大学名誉教授。著書に「遊びの場づくりに役立つムーブメント教育・療法」（明治図書）など多数。



ヌリ課程改訂から
大きく動き出した

韓国

の幼児教育・保育

「子どもが 生きる・遊ぶ」の 意味を改めて問う

日本と同じく深刻な少子化問題を抱え、ヌリ課程^{*}に基づいて質の向上を目指す韓国。幼児教育・保育はどのように変わってきたのでしょうか。現地の環境に関心をもち、20年以上にわたり韓国へ足を運んできた汐見和恵先生に、韓国の幼児教育・保育についてまとめていただきました。

監修・執筆／汐見和恵
(一般社団法人家族・保育デザイン研究所所長)



PROFILE

汐見 和恵

(しおみかずえ)

一般社団法人家族・保育デザイン研究所所長、立教大学社会福祉研究所特任研究員、フレーベル西が丘みらい園前園長、元・新渡戸文化短期大学教授。『育つ・つながる子育て支援-具体的な技術・態度を身につける32のリスト』(チャイルド本社)、『揺らぐ子育て基盤 少子化社会の現状と困難』(頸草書房)、『今、もっとも必要なこれからの子ども・子育て支援』(風鳴舎)、『保育ナビブック 私たちの園のマナーづくり』(フレーベル館)と著作も多数。

CONTENTS

- 011 **はじめに**
韓国の教育環境を知るための3つのキーワード
- 012 韓国の幼児教育・保育の変遷と課題
- 014 3つのオリニジップの保育
- 017 **特別対談**
保育者や保護者を巻き込みながら進める「遊びを中心とした保育」への転換とは

はじめに

- *1 2012年公示された、韓国の幼保共通の課程。遊びを中心とした幼児教育・保育が示されている。
- *2 「こどもの家」という意。日本でいう保育園、認定こども園。一般的に1歳児からの受け入れて、0歳児の時間保育（一時保育）事業を実施する園もある。親の就労義務はない。

韓国の新学期は3月です。

この時期は南の地域からレンギョウが咲き始め、寒かった冬が終わり春の季節に変わります。

韓国の冬は厳しいですが、夏は暑く、

四季の移り変わりを感じながら生活する感覚は

日本と地理的に近いので、似ているように思います。

食生活や生活文化の違いは大きく、

それによって育まれる人との関係性は

興味深いものがあります。

韓国にはこれまでも環境や歴史・文化的関心から

10回以上行き、現地の人々との交流を重ねています。

今回、2023年6月〜2024年5月にかけて

計4回、韓国の幼稚園²か所、

オリニジップ²10か所、学童クラブ、

子育て支援センター、一時保育センター、

オルタナティブスクールなどの

視察をする機会がありました。

ここでは、視察を通して見たこと、感じたこと、

考えたことなどを私なりにお伝えしたいと思います。

韓国の教育環境を知るための

3つの キーワード

ヌリ課程と 標準保育課程

3〜5歳児は幼稚園・オリニジップ共通の「ヌリ課程」に沿って計画を立て、幼児教育・保育を行っています。1〜2歳児は「標準保育課程」が定められています。

ヌリ課程には遊びを中心とした幼児教育・保育が示され、2019年の改訂で「目指す人間像」として、「健康な人間、自主的な人間、創意的な人間、感性豊かな人間、ともに生きる人間」という具体像が明示されました。標準保育課程では、1歳児は愛着関係を育み五感を育む遊びを重視する、2歳児はさらに五感を発達させ生活の中で探求することを大事にしています。

保育プログラムは園ごとに異なりますが、森体験、生態教育、アート、庭づくり、地域社会、地域探索、文学、伝統文化、家族連携、食生活などを行っています。小学校との連携を視野に入れた活動を行うこともあります。

深刻な少子化

韓国の少子化は日本以上に深刻*です。若い人たちは経済的に苦しく、「住宅が持てない、結婚ができない、子どもを産みたくても産めない」という「3無状態」だと言います。近年のマンション価格は日本以上に高騰しており、親の家と一緒に生活せざるを得ない人が増えているようです。共働きの家庭が多く、ほとんどの子どもはオリニジップや幼稚園へ入園しています。児童定員に満たない幼稚園もあります。

*2023年の合計特殊出生率は日本1.26、韓国0.72（OECD加盟国の中では最低）

厳しい学歴競争社会

韓国で有名な大学入試の日の風景をご存じでしょうか。タクシーをはじめ社会全体が受験生優先で動きます。子どもが学歴を得るために、家族はあらゆる生活を犠牲にして頑張ります。このような傾向が年々拡大されて、中・高生が学校で正規授業後に深夜10時・11時まで勉強するのが当たり前になっています。その後さらに塾で勉強する子どもも少なくありません。最近のソウル市近辺では小学生も夜遅くまで学校で勉強するようになったと、韓国の友人が嘆いています。そのような風潮は親の教育熱と危機感をさらにあおり、幼児教育・保育にも影響を与えています。

「子ども主体の保育」を深める

保育内容 INDEX

30

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び

**4歳児5期：気が合う特定の
友だちと一緒に遊ぶことが
楽しくなってくる時期**

32

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー

**生活から遊びを発見する
ゆとりあるまなざし**

34

チャレンジ！
子どもの姿ベースの指導計画
使ってみよう～月案編～

38

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～
みんなでつくる園行事

40

一人ひとりの感性が輝く
アートな世界
混合技法と共同製作のおはなし

44

密着！ミドルリーダーのしごと
**食と森のこども園小松島
(宮城県仙台市)**

46

保育の種
子どもの健康を守るために
散歩で気を付けること②

47

若手育成のための
文章の書き方練習帳
**ラクラク、スイスイ書ける！
子どもの育ちが伝わる書き方**

48

子どもたちのミーティング Q & A
**ステップ7
本音を出せる環境があるか**

知識を学ぶ

考え方・発想を学ぶ

スキルを学ぶ

「子ども主体の保育」を
深めるために

「子ども主体の保育」を進めるうえで役に立つ保育実践の知識や考え方、発想、スキルについての記事を掲載しています。ご自身や自園の保育に使える部分を試してみる、園内で共有するなど、ぜひご活用ください。

PICK UP!



今月はいろいろな道具や材料を使って1つの作品を作る「混合技法」とみんなで1つの作品を作る「共同製作」のおはなしです。色とりどりの作品をお楽しみください。

PICK UP!



子どもの健康を守るための保育者と看護師の連携や、次の保育につなげるためのポイントを考えます。今月は、「公園事故リスクMAP」のダウンロードもできます。

保育ナビブック

園内研修を通じた保育の変革 A to Z
保育の質の向上に役立つ32のコツ

8月刊行

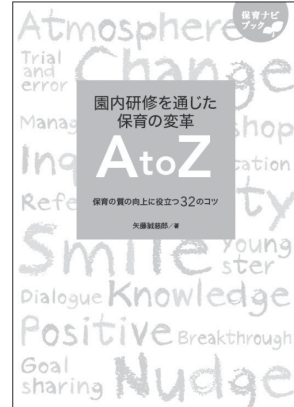
「園内研修を通じた保育の変革」で成果を上げるには何がポイントになるのか？ 長年、多くの自治体や園の取り組みに伴走してきた著者が、時間などの余裕のない保育者・園が小さな変革を生み出し続ける園内研修のコツを大公開。どこからでも読めて、1日2ページ読むだけで学べる本書は、保育の質の向上・人材育成・チームづくりに役立ちます。

Contents

Chapter 1 園内研修を通じた保育の変革とは

Chapter 2 園内研修を通じた保育の変革 A to Z

※より良い内容とするため、表紙と内容は変更となる場合があります



著者／矢藤誠慈郎（和洋女子大学）
定価 2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）
80 頁、26 × 18cm
ISBN 978-4-577-81550-2
108-30

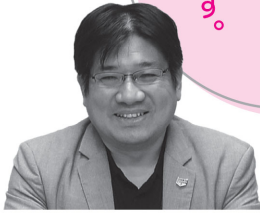
保育ナビ

園の危機管理 ポイントチェック

年々多様化、複雑化する危機管理への対応。
どのような状況でも実効性が高い対策を実行できる
人材を育成するためのポイントを解説します。

10月号 ▶▶▶▶▶

事故後対応策の基本



執筆 脇 貴志
(株式会社アイギス)

とくに「**スピード**」が
重要なのは
バランスです。

今月の
ひとこと

危機管理の世界では事故の前と後によってとるべき方法が大きく分かれます。

保育の世界では、事故の前に偏った対策をしている傾向がありますが、私は、事故の後の対策のほうが重要だと考えています。

事故が起こる前の対策も大切なのですが、事故をゼロにする方法はありません。どんなに気をつけて保育をしても事故は発生します。事故が起きてから先は予防の世界から、対応の世界に変わります。

事故後の対応策は事前に準備

事故後対応の目的は、事故のダメージを最小化することです。利用者の信頼を損なうことを最小化し、職員の心のダメージを最小化し、そして、法人のイメージ崩壊を最小化することを目的とします。

事故後の対応策を事故が起き

る前に準備できていないと、事故発生とともにぶっつけ本番で臨まなければならないことになります。そこで失敗すると大きなものを失います。そして、そこで失ったものは二度と取り戻せません。そこで後悔しても始まらないので、後悔しなくてすむような方法を学びましょう。

大事なのは、

「スピード」「謝罪」「説明」

事故発生後の対応で重要なポイントには、「スピード」「謝罪」「説明」の3つです。これらを1つずつ準備しておけば安心です。

事故発生後すぐに始まるのは初期対応です。そこで最も重要なことは「スピード」です。つまり、初期対応をすぐに始めるということ。事故が発生し、すぐに動き出せるかどうか肝になります。

法人の対応方針を決めて、

「すぐにやらなければならないこと」と「やらなくていいこと」に分け、やることの優先順位を決めてすぐ取り掛からなければなりません。必要に応じて、法人外から専門家を集めて対応チームを編成しなければなりません。これらのことをスピード感をもって行うには、事故が発生する前に準備をしておく必要があります。

その初期対応の柱となるのが、「謝罪」と「説明」です。この2つには「相手が受け取ることがゴール」という共通点があります。私は保護者会に立ち会う機会がたくさんあります。その場で、被害園児の保護者が「園の説明資料には、『〇月〇日 被害園児の保護者に謝罪』という記載がありますが、私は園から謝罪されたという認識がありません」と発言されることがあります。園長が保護者に頭を下げ

年間予定 * 変更になる場合があります。

4月号 安全計画策定義務化
5月号 保育環境の設定に伴う安全管理
6月号 マニュアル化のポイント
7月号 安全対策の効果の検証

8月号 園の管理下と管理下外を理解する
9月号 不適切保育対策の基本
10月号 事故後対応策の基本
11月号 社会人勉強の重要性

12月号 保育現場のリスキリング
1月号 職場の人間関係で大切なこと
2月号 現場のコンプライアンス
3月号 現場のガバナンス

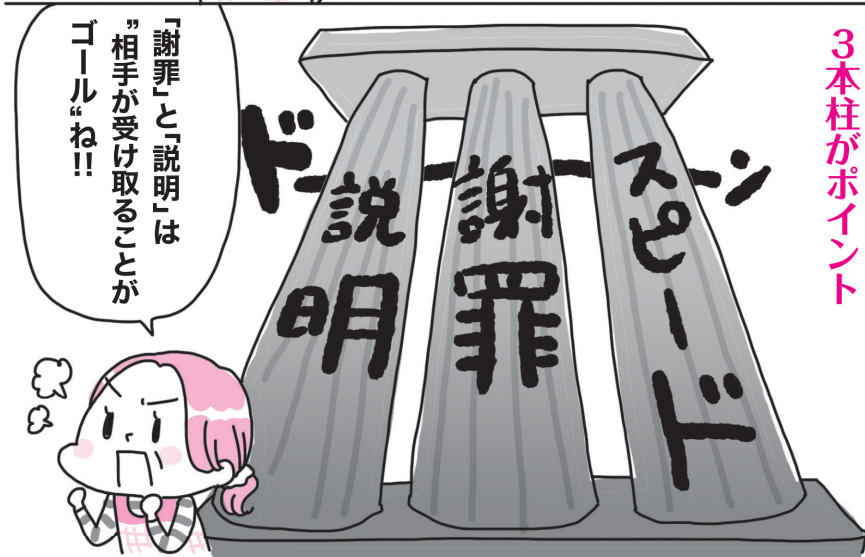
注意点①

事故の前(事故予防策)と
後(事故後対応策)の準備は
バランスが重要!!



注意点②

事故後の対応策は
「スピード」と「謝罪」と「説明」の
3本柱がポイント



れば謝罪したことになるとは限りません。相手の心に届かなければならないのです。

それは、説明についても同じことが言えます。園の説明を受けた保護者が、園が説明した内容と同じ内容で理解したかが重要なポイントです。伝わらない表現で一方的に話をして、それは説明にはなりません。相手の立場に立った言葉や言い回し、表現方法に気をつけ、きちんと伝わっているということを確認しながら話さなければ説明にはなりません。

日本社会は事故の前の準備には時間もコストもかけませんが、事故の後にはかけません。それによって事故自体よりも大きな二次被害を招き、大きな損失を生みます。これは事故の前と後の準備のどちらが重要かという問題ではなく、バランスの問題なのです。